第１１回移動式クレーン安全運転競技静岡大会開催要領

１　趣　　旨

クレーン等による災害は、今日なお重篤な災害が発生しており、憂慮される状況にあることに鑑み、移動式クレーンの安全運転技能の向上と安全意識の高揚を図り、クレーン等による労働災害の防止に寄与することを目的する。

２　主 催　　一般社団法人日本クレーン協会静岡支部

３　後 援　　静岡労働局（予定）

４　開催日時 　令和５年９月７日 (木)　９時３０分開会　１６時閉会 (予定)

５　会 場 　掛川クレーン学校 (掛川市大池 655番地)

６　参加選手

　（１）参加選手数 １０名以内とする。

（２）選手資格 移動式クレーン運転士免許を有し、所属する会員事業場から推薦された者とする。

７　参 加 費　　競技参加費は無料とし、旅費は各自負担とする。

８　競　　技

（１）競技種目　　競技種目は「移動式クレーンの運転」とする。

（２）使用する移動式クレーン

使用する移動式クレーンの明細は次のとおりとする。

なお、都合により使用する移動式クレーンを変更することがある。

ア　型 式 ジブ伸縮式ホイールクレーン

イ　吊り上げ荷重　　　　 ８トン

ウ　巻上ロープ速度 １０６m/min

エ　ジブ起伏範囲 ０°～　８０°

オ　ジブ起こし速度 ２．７m/min

カ　旋回速度 ２．１ｒｐｍ

キ　操作レバー等の配置 別図‐1参照

（３）競技コース

　　　　競技コース、障害物等の形状、寸法及び配置の概要は、図―２及び図―３に示

す。

（４）準備

　　　競技に先立ち、次の準備を行う。

ア　移動式クレーンは、アウトリガーを最大に張り出し、フックの位置を起点Ａの真上で下端の高さを地上２ｍにしておく。

イ　選手は、移動式クレーン運転に適した安全な作業服、保護帽、及び履物を着用

し、移動式クレーン運転士免許証を携帯する。

（５）競技実施方法

　　　　競技は、次の流れに従って実施する。

ア　選手は、審査委員長に対しゼッケン番号及び氏名を申告し、移動式クレーン運

転士免許証を提示した後、「競技開始」を宣言し、移動式クレーンに搭乗する。

イ　選手は、審査員（運転室担当）の指示により運転室に入り、運転合図のブザー

を鳴らし、準備運転として各操作レバーの操作等を３分間以内で行うことができ

る。

ウ　準備運転終了後、ブザーを鳴らし玉掛け者の合図によりフックを起点Ａ（出発

点）に戻し、直ちに下す。

エ　選手は、玉掛け者がつり荷 (図―４参照)をフックに掛けた後、玉掛け者の合

　図により巻上げ動作に入り、地切り直前及び地切り後にそれぞれ一旦停止し、そ

　の後、荷をつり上げ、つり荷の下底が地上２ｍの高さになるように巻き上げて停

　止し、ブザーを鳴らして高さの測定を受ける。

オ　選手は、玉掛け者の出発の合図（審査対象所要時間計測開始）により、出発合

図のブザーを鳴らし、障害物Ｂ点（Ｂ点通過後はつり荷の高さを概ね２mに戻

す。）、Ｃ点及びＤ点を通過し、Ｅ点でつり荷を巻下げて円内に着地・安定後、速

やかに再びつり荷を巻上げて出発する。

カ　障害物Ｆ点、Ｇ点及びＨ点では、概ね地上２ｍの高さで通過し、起点Ａ（終

点）の上に帰着し、つり荷が地上２ｍの高さになった時に停止してブザーを鳴ら

し（時間計測中断）、再度、高さの計測を受ける。

キ　選手は、つり荷の高さ計測後、玉掛け者の合図（時間計測再開）により、つり

荷を巻下げて着地前の一旦停止を行い、起点Ａ（終点）の円内に置き、ワイヤロ

ープを緩め荷の安定を確認して、終了合図のブザーを鳴らす。（審査対象所要時

間計測終了）

ク　選手は、玉掛け者の合図によりフックを巻下げ、つり荷がフックから外れた

後、移動式クレーンを前述の（４）のアの状態に戻して旋回ブレーキを掛け、エ

ンジンをスロー回転におとした後、審査委員（運転室担当）の指示により運転室

から退出する。

ケ　選手は、審査委員長に「競技終了」の報告を行い、競技を終了する。

コ　安全確認（指差し呼称）は最低限次の４項目で足りるものとし、実施しなかっ

　た場合は減点の対象とする。

なお、その他の場合において指差し呼称を行っても差し支えない。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項 目 | | 実施個所 | 指差呼称 |
| １ | 地切り後吊り荷の安定を確認 | Ａ、Ｅ点 | 「地切りよし」等 |
| ２ | 吊り荷を移動させる時の前方確認 | Ａ、Ｅ点 | 「進行方向よし」等 |
| ３ | 着地の確認 | Ａ、Ｅ点 | 「着地よし」等 |
| ４ | 着地時に吊り荷の安定を確認 | Ａ、Ｅ点 | 「安定よし」等 |

サ　選手は、運転中は同時３操作を行ったり、つり荷又はフックの自由降下をして

はならない。また、ジブの伸縮も行ってはならない。

９　審　　査

（１）審査方法等

ア　審査項目、配点、採点内容は別表のとおりとする。

イ　採点は、各選手の持ち点を800点とし、採点内容について減点法により採点を

行う。

ただし、各審査項目について、その配点を超える減点は行わない。

（２）失格事項

次の場合は失格とする。

ア　移動式クレーン運転士免許証を携帯しない場合

イ　移動式クレーンの運転に適した服装でないと判断した場合

ウ　審査委員長が危険又は不適当と判断した場合

（３）その他

得点が同点である場合、競技所要時間が短い者を上位とする。

10　表 彰

（１）競技成績第1位から3位までを入賞とし、当支部長賞状及び副賞を授与する。

（２）入賞者以外の競技参加者には、参加賞を授与する。

11　参加申込

（１）申込方法　　別添参加申込書により、静岡支部あてに申し込みをする。

（２）申込期日　　令和５年 ７月３１日 （月)

12　選手受付等

（１）選手は、大会当日、午前8時30分から9時までの間に、会場にて選手参加票（申

し込み後当支部から送付する）を提示して受付を済ませること。

（２）選手に付添者が同行する場合は、原則として1名とする。

　　　なお、受付後は競技終了まで原則として選手と付添者は接触できない。

13　選手が持参するもの

　　　選手は、大会当日、次のものを持参すること。

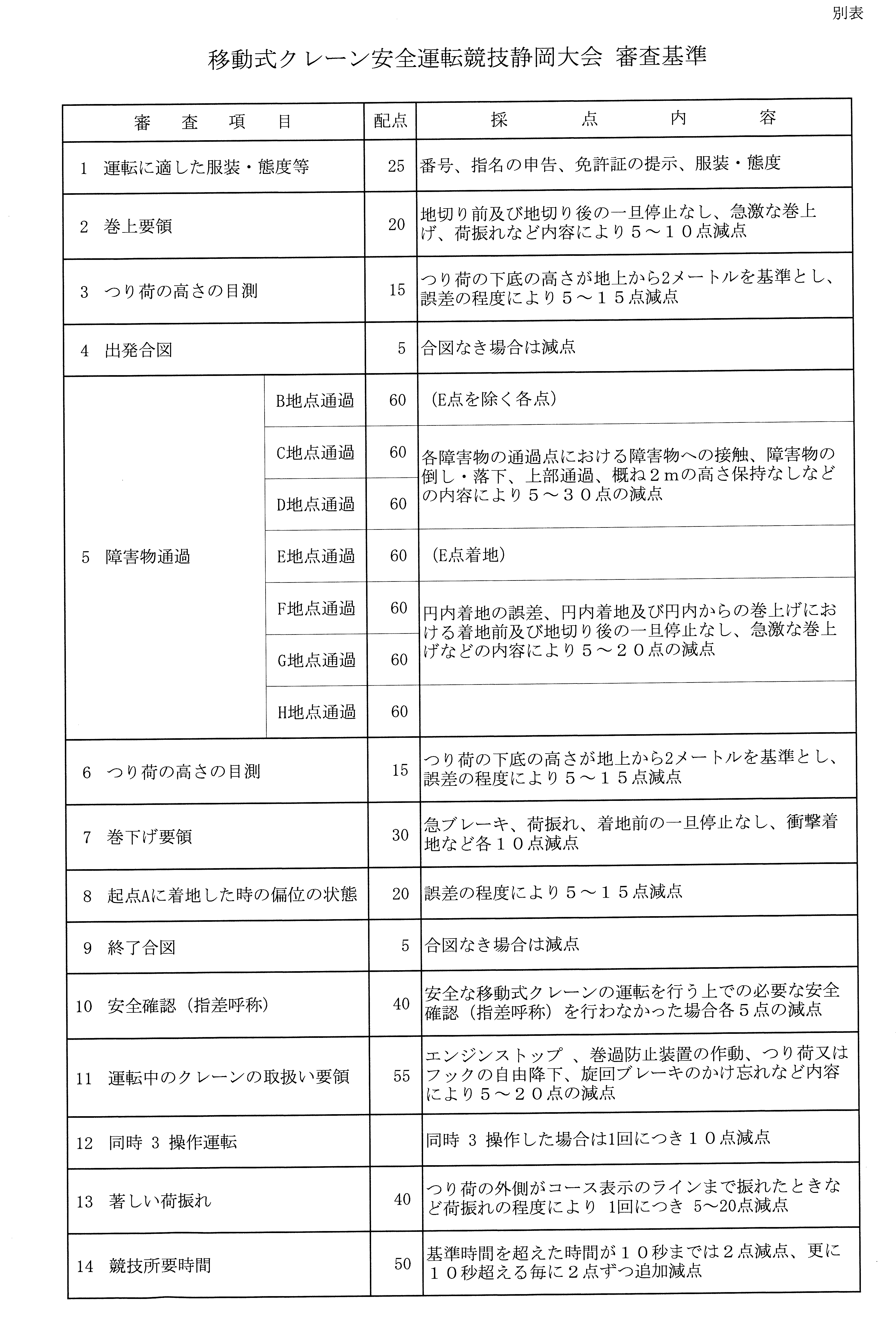
　　ア　移動式クレーン運転免許証

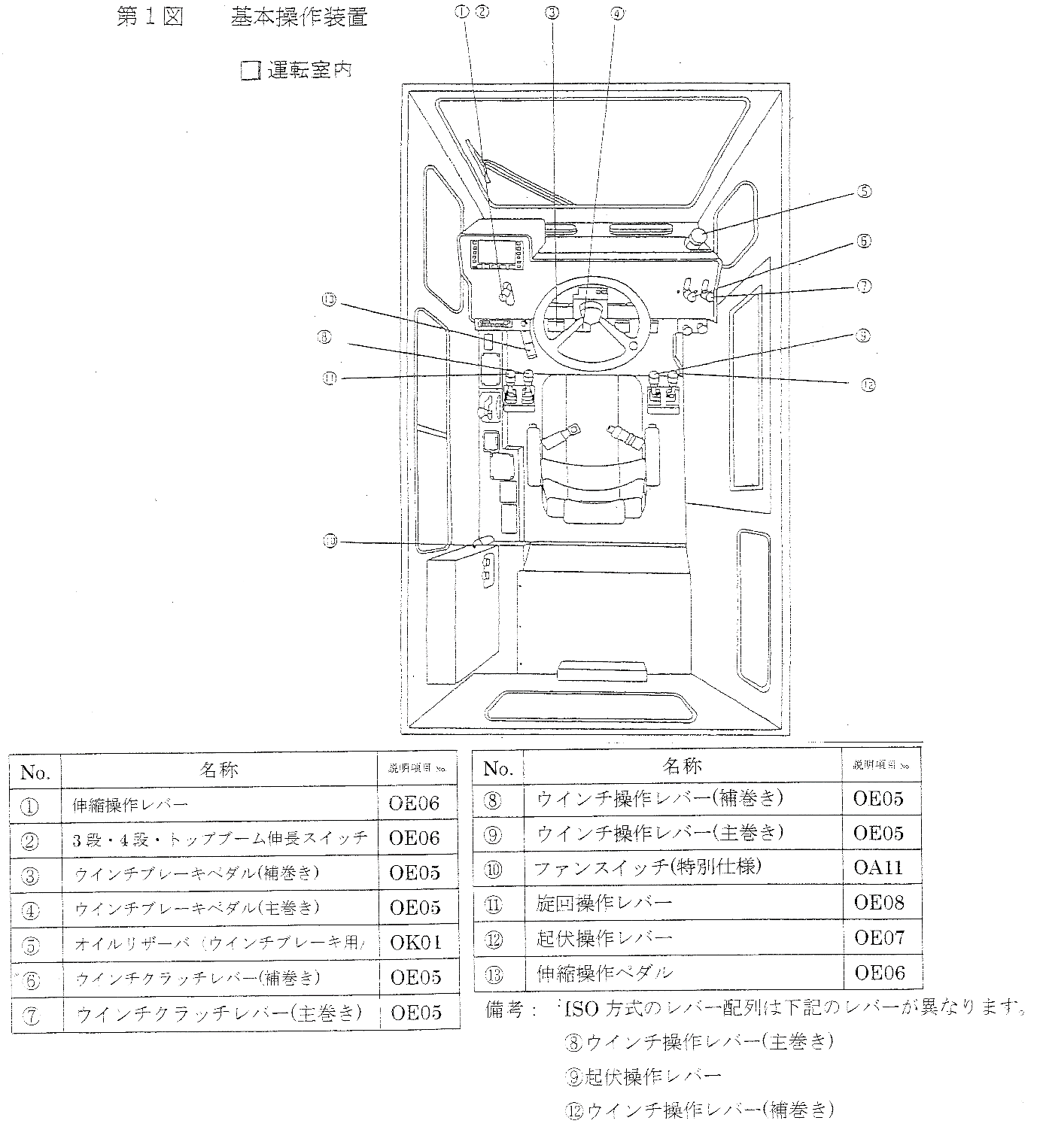
　　　　注：①　上記免許と同等の資格を有することを証する書面でもよい。

　　　　　　②　コピーしたものは不可なので、必ず原本を持参すること。

　　イ　作業服、保護帽、安全靴等（移動式クレーンの運転に適した服装等であること）

　　ウ　選手参加票





図―１

